

2018 JDWG 公開イベントへ ようこそ

認知症とともに生きる私たちからのメッセージ

# 本人ガイドを活かして、 希望のある日々をどの町でも！

一足先に認知症になった私たちからあなたへ

**日時** 2018年6月9日（土）  
15:00～17:00

**場所** 国際医療福祉大学  
赤坂キャンパス

## 本日のプログラム（15:00スタート）

|             |   |
|-------------|---|
| 15:00～15:10 | 1. 開会・あいさつ<br>日本認知症本人ワーキンググループ（JDWG）の紹介と<br>今日のイベントについて<br>藤田 和子 / 日本認知症本人ワーキンググループ代表理事   |
| 15:10～16:00 | 2. 本人座談会<br>これからのよりよい暮らしと地域を、一緒につくろう！<br>一足先に認知症になったわたしたちからあなたへ<br><br>藤田 和子 / 鳥取県鳥取市<br>丹野 智文 / 宮城県仙台市<br>福田 人志 / 長崎県佐世保市 |
| 16:00～16:15 | 休憩<br>< 情報交換・ネットワーキング >   |
| 16:15～16:45 | 3. リレートーク<br><br>どこで暮らしていても、認知症とともに、<br>よりよく暮らせるまちへ<br>～私の思い、今の活動、こんなまちになってほしい～  |
| 16:45～16:55 | 私たちからの提案 2018   |
| 17:00       | 閉会<br>情報交換・ネットワーキング   |

主催：日本認知症本人ワーキンググループ



スターチスの花：花言葉は、「変わらぬ心」「途絶えぬ記憶」

私たちは、認知症とともに  
よりよく生きてゆくことが  
あたり前の世界をつつていきたい。  
認知症の人も、そうでない人も  
私たちと一緒に  
それぞれの国で、それぞれが住むまちで。

メッセージは、本人による書

## 日本認知症本人ワーキンググループ（JDWG）の活動目的

認知症とともに生きる人が、希望と尊厳をもって暮らし続けることができ、社会の一員としてさまざまな社会領域に参画・活動することを通じて、よりよい社会をつくりだしていくこと。



### 活動の方針（JDWGのすべての事業・活動で大切にしていること）

地域とともに：一人ひとりが、住み慣れた地域でよりよく暮らしていくために

「本人による、本人のため、社会のための活動を具体化し、息長く続けていくために、会員それぞれが暮らしている地域に根差して、その地のさまざまと人たちと一緒に活動していく。

\*ともに取組んでいく中で、それぞれの地域のさまざまな人たちに「認知症の人」への真の理解を広げる。

\*本人抜きで進めず、本人とともに進める新たな地域連携・協働の姿を具体的に示していく。

小さな声を大切に、大きな流れを

各地の会員の声を丁寧に集め、国や関係省庁、団体等に提案し、どこに住んでいても暮らしやすくなるための全国レベルでの仕組みに反映させていく。

海外の仲間とともに

海外の仲間も試行錯誤しながら進んでいる。国際的につながり、情報収集・連携を進めながら、活動の充実を図っていく。

プロジェクトを組んで力強く

活動の具体的成果をあげていくためには、実働する人・知恵・資金等が不可欠。法人の姿勢を守りつつ、各種事業はプロジェクトを組んで進めていく（自治体、研究機関、企業等と力を合わせて）。

会員一人ひとりが、ともに

当法人の活動の源は、全国の認知症の本人とそのパートナー。会員一人ひとりができることをできる範囲で取組み、全体として（法人として）よりよい活動体となっていくことを目指していく。

### 【JDWGの歩み】

- 2010年前後から、認知症になった私たちが、体験や思い、希望を語る活動をそれぞれが始める。
- 2014年10月 目的を同じくする仲間が集まり、日本認知症ワーキンググループを結成。
- 2017年9月 活動を持続発展させていくために一般社団法人を設立。 代表理事：藤田和子

# 本人座談会

これからのよりよい暮らしと地域を、一緒につくろう！  
一足先に認知症になったわたしたちからあなたへ



藤田和子 鳥取市在住 56歳

看護師として働いていた45歳の時若年性アルツハイマー病と診断される。  
2010年「若年性認知症問題にとりくむ会・クローバー」を設立、2014年10月、  
日本認知症ワーキンググループ設立に参加（共同代表）。  
2017年9月、「日本認知症本人ワーキンググループ」を一般社団法人化し、  
現在代表理事。



丹野智文 仙台市在住 44歳

自動車販売会社でセールスマンとして活躍していた39歳の時、若年性アルツハイ  
マー型認知症と診断される。13年「認知症の人と家族の会宮城県支部」の「若年  
認知症のつどい『翼』」に参加、日本認知症ワーキンググループ設立に加わった。  
2015年から、当事者の相談を当事者が受ける「おれんじドア」を立上げ、仙台市内  
で開催。会社の理解のもと、営業職から事務職に変わり、現在も仕事を続けている。



福田人志 佐世保市在住 55歳

料亭やホテルで日本料理人、高齢者施設や病院等で調理師として働く。  
2014年、若年性アルツハイマー型認知症と診断される。  
パートナーの中倉氏とともに「壺行の会」を立ち上げ、絵と書でメッセージを伝え  
る活動や、住んでいる地域・周辺の地域で、当事者同士の集まりを続けている。  
2018年JDWGに入会。

# リレートーク

認知症になってからも、希望をもって暮らしたい、  
尊厳をもって暮らしていきたい



「こんなことがしてみたい、こんなふうに暮らしていきたい」

「こんなことをやってる、こんな活動をしていきたい。」

ひとつづつ、みんなの言葉をつないでいきましょう！



# 「本人ガイド」の頒布について

日本認知症本人ワーキンググループでは、「本人ガイド(本人にとってのよりよい暮らしガイド)」が全国のすべての市区町村で、認知症の人の手に行き届き、どこで暮らしていても、一人ひとりが希望をもってよりよい日々を過ごしていただけることを心から願っています。それを現実にするために、当法人の公益活動の一環として、この「本人ガイド」を当事者の方に頒布する活動を行っています。

## 認知症のご本人からの個人のご要望について

可能な限り、冊子、送料とも無償にてお送りいたします。

## 自治体や団体等のみなさまが事業等で利活用される場合について

有償配布とさせていただきます。頒布活動を今後持続的にを行い、皆様たちと共に、より多くの当事者に「本人ガイド」を届けることにつながりますようご理解願います。

**なお、「本人ガイド」は、JDWGホームページでダウンロードできます。**(<http://jdwg.org/>)

「本人ガイド」は、平成29年度厚生労働省補助事業(委員長 東京都健康長寿医療センター研究所 粟田圭一 研究部長)において作成したものです(制作協力:JDWG)。

## 本人ガイドに関する連絡先

電子メールの場合: [guide@jdwg.org](mailto:guide@jdwg.org) (または、JDWGホームページから)

FAXの場合: 03-3986-8172

一般社団法人

日本認知症本人ワーキンググループ

JDWG

会

員

案

内

会員の種別は2つです。

| 会員種別 | 区分 | 要件  | 年会費                |
|------|----|---|--------------------|
| 正会員  | A  | 本法人の目的に賛同する「認知症の本人である個人」                      | 3,600円             |
|      | B  | 本法人の目的に賛同する「認知症の本人である活動団体」                    | 7,200円             |
|      | C  | 本法人の目的に賛同し、<br>「認知症の本人の社会参画・活動を支援し、ともに活動する個人」 | 3,600円             |
|      | D  | 本法人の目的に賛同し、<br>「認知症の本人の社会参画・活動を支援し、ともに活動する団体」 | 7,200円             |
| 賛助会員 | E  | 本法人の事業を援助する個人                                 | 3,600円             |
|      | F  | 本法人の事業を援助する法人・団体                              | 1口:3,600円<br>10口以上 |

年度(4月～翌3月)途中に入会された場合、年会費は、年度末(3月)までの月割りになります(月額300円)。

**詳しくは、「入会案内」、又はホームページをご覧ください**